

大学入試問題研究 2

樟蔭中学校・高等学校英語科教諭 神農千佳

昨年度、この場で樟蔭中学校・高等学校 6 年一貫コースの取り組みとして、相馬教諭が大学入試問題研究を発表されたのを引き継ぎ、今年度も発表させていただきます。

6 年一貫コース設立後、本校でも国公立二次や難関私大の志望者が増えるようになった。国公立二次や難関私大を志望する生徒で、英文構造の理解の困難を伴うことは少ないが、意味内容の理解には戸惑う生徒が散見される。日本語、英語それぞれの深い語学力が適度に溶解しあい、一つの理解へと導かれる道筋を作らせていく指導が必要であり、早い段階での母語力の養成は、チーム内の喫緊に取り組むべき課題となっている。

意味内容の理解を促す一助として 6 年一貫コースの高校 2 年生、3 年生の特進 I コースと II コースでは、様々な二次問題の訳文を読ませる取り組みを今秋より開始している。英文の流れや構成を感じさせることに留まらず、時事問題や異文化理解、科学・医療などの多岐に渡る主題に触れさせることで、幅広い知識を身に付けることを目標にしている取り組みである。日頃から触れている日本文とはやや異なるため、読み辛さはあるものの背景知識不足の生徒にとっては、助けとなっているようである。

今後も、国公立や難関私大を目指す生徒の増加を期待して、大学入試問題研究のみだけでなく、語学全般の学習や新課程で提示されたコミュニケーション I・II の授業展開についても、研究を進めていく予定である。また、来年度からは、電子黒板が各教室に導入される。図書館には既に i-pad が導入されているが、来年度はさらにその数を充実させるため、授業において 1 人 1 台の使用が可能となる。様々な ICT を活用した英語の授業の充実に関しても研究を進めていく。

以下は、簡単ではあるが、筆者が担当した大学入試問題研究の一端を紹介する。

① 問題文

① Think about the last time you were lied to.

② It may take you a minute. Most of the time when I ask people about when they were last deceived, they need a few moments before coming up with something. Eventually, they will recollect the story of the mechanic who overcharged for an unnecessary repair, or the date who promised to call the next day and was never heard from again.

本文のテーマが1行目で提示されているので、内容把握がしやすい。

第1段落目（各段落の1～2行目）は、主題の提示あるいは筆者の主張に当たるので、読み終えるまで本文全段落を通じて背骨になっていることを忘れてしまわないことが肝要。

英文では同じ単語を、近い位置で繰り返し使わないため、言い換えが行われる。be lied ⇒ be deceived のように。

段落①②を直訳した場合

あなたが嘘をつかれた最後の時を思い出してみてください。
 少し時間がかかるかもしれませんが。私が最後に騙されたときについて人に尋ねると、人は思い出すのに少し時間がかかります。ようやく、不必要な修理をして高い費用を言ってきた修理工や、次の日に電話すると約束した恋人から二度と電話がなかったという話を思い出します。

矢印の流れに沿って段落①②③の内容を読み取っていきこう。

③ ⁽¹⁾ Lies that do some kind of emotional or financial damage are the ones that generally spring to mind when we think about the deception we encounter. This makes sense. Events that are painful or dramatic tend to be memorable, and tend also to shape our impressions of the circumstances — like being lied to — that surround them. My guess is that the lie you came up with as the one you most recently encountered involved ⁽²⁾ a blow to either your heart or your wallet.

【設問 A】 下線部 (1) を日本語に訳せ。

S Lies / that do some kind of emotional or financial damage
嘘 / ある種の感情的あるいは金銭的な損失を与える

V are

S と C は関係詞 that で形がそろっている。

である

C the ones / that generally spring to mind /
嘘 / 一般的に心に 浮かぶ

when we think / about the deception we encounter.

我々が考えるとき / 私達が出会う嘘について

構文としては平易。the one (the ones) は、代名詞として読解問題ではよく尋ねられる頻出問題である。しかし、英語の代名詞は、直前の単数あるいは複数の名詞を受けるので、すぐに見つけられるため難しくはない。

spring を「春」として覚えている人は、躓いてしまうかもしれないが、自分の覚えている意味に拘泥されずに、文脈から推測することも大事である。よく言われているように、run「経営する」book「予約する」など、中学校では学んでいない意味で、大学入試では頻出となる単語がある。平易な単語ほど様々な意味を持つので要注意。

また、encounter は、二次問題や難関私大で頻出の単語である。覚えておこう。

【設問 B】 下線部 (2) の “your heart” と “your wallet” に対する “a blow” とはどのようなものか。本文中の具体例をそれぞれ h (“your heart” の略記), w (“your wallet” の略記) と示された行に 20 字以内の日本語で記せ。ただし、句読点も字数に含める。

具体例を挙げる問題 <出る>

第 1 段落目に、“your heart” に対する例としては「次の日に電話すると約束した恋人から二度と電話がなかった」、 “your wallet” に対する例としては「不必要な修理をして高い費用を言ってきた修理工」が既に前段落で述べられている。矢印で段落①→②→③の流れを確認しよう。

段落③を直訳した場合

何らかの **精神的**，あるいは **金銭的** な損失を与える嘘が，我々が騙された経験について考えるとき，一般に頭に浮かんでくる嘘です。このことはもっともなことです。痛みのある，あるいは劇的な出来事は，記憶に残りやすく，また，一騙されるというような一出来事を取り巻く印象は，頭に残りやすくなります。私の推測としては，あなたのごく最近出会った嘘として思いつくものは，^(B) あなたの **心** または **経済事情** に一撃を加えていたと思います。

④ The reality of deception, though, is very different from ⁽³⁾ (①) (②) (③) (④) (⑤) (⑥) (⑦) believe. Our relationship to lying is far more intimate than the occasional encounter with a deceitful mechanic or dishonest lover. Think again, more carefully, about the last time you were lied to. Perhaps you (あ) your dry cleaning, and when you thanked the person handing it to you, he responded, “My pleasure” — although both of you knew there was almost no chance that doing your laundry had given him any pleasure at all. Or maybe you were in line at the grocery store and you (い) a conversation with the woman in line ahead of you. Maybe she told you she’d never had to wait in line so long before. (4) Really?

【設問C】 下線部 (3) の空所 (①) ~ (⑦) を下の語ア~キで埋め，本文の内容に最もふさわしい英文を完成させるとき，空所 (①) (③) (⑤) (⑦) に入るものをそれぞれ記号で答えよ。ただし，いずれの記号も1回ずつしか使えない。

ア. lead イ. memories ウ. painful エ. such
オ. to カ. us キ. what

1 : lead + 人 + to do の形

2 : such + 形 + 名詞 (複) の形

3 : 関係詞 what の用法

左の1~3を，並んだ語を見てパッと見てとれる力があるか？ 並び替え問題は，文法・語法の要点が数種類組み合わせられて必ず出題される。

